

## 「どうみん割」の対象期間延長に関する主な意見

### ○ 有識者・専門家等の意見

- ・ 意見なし。
- ・ 異論はありません。
- ・ 追加する意見はございません。
- ・ 国の指針に従うことについて、特に異論ありません。引き続き、感染対策の徹底を宜しく願います。
- ・ 長引くコロナ禍にあって、疲弊した地域の観光関連事業者の経営を支援するため、道内はもとより道外からの観光需要を喚起するため、「どうみん割」の対象期間の延長をはじめ、国の「全国旅行支援」の速やかな実施など切れ目のない対策を効果的に実施して頂きたい。
- ・ コロナ禍に加えて、ウクライナ情勢・円安による燃料費・原材料費高騰等、「食と観光」を基幹産業とする北海道経済は長期にわたり何重もの打撃にさらされており、そうした中、「切れ目のない需要喚起策」は極めて重要である。「全国旅行支援」が10月11日から開始との政府方針が示された以上、それまでの間、「どうみん割」を延長するのは適切であり、是非、お願いしたい。
- ・ また、報道によれば、「全国旅行支援」は12月末までとなる見込みだが、特に北海道の場合は閑散期となる冬の需要喚起が重要であり、1月以降も含めて、インバウンド需要が本格的に回復されるまでの間は「全国旅行支援」の継続等の「切れ目のない需要喚起策」を講じていただくよう、国に求め、また、道としても対応いただきたい。
- ・ 特に、「全国旅行支援」の開始時期が当初より大幅に遅れたため、政府予算が執行残になる可能性もあり、その際は限られた需要喚起の財政資源を有効に活用する観点から、当該予算を早期に都道府県に配分するよう求めている。
- ・ 一方で、観光・宿泊・飲食・交通などの業種において人手不足が深刻化しており、現状でも人手不足から空室を作らざるをえないホテルもあるとの声も聞いている。今後、国内外での回復が想定される旅行需要を最大限吸収することは重要であり、観光部局のみならず、道庁を挙げて、人手不足対策に取り組んでいただきたい。